

# 篠田桃紅美術空間からの お知らせ

## 石原ミチオ56年の情景展

## 反抗の譜うた

石原ミチオさんは、関市に生まれ、岐阜大学学芸部美術工芸科で美術教育を学んだ後、公立学校教員を38年務め、関市を拠点に制作活動する画家です。

1959年、関市の前衛芸術家集団VAVAの結成に参加。地元を根を下ろし、実験的な試みや表現の可能性を追求した作品を制作。現在は、鮮やかな色彩を用い、一気に筆を走らせた生命感あふれる作品を発表しています。また近年の活動では、『ふるさとの川行シリーズ』としてスケッチ作品とともにエッセイが新聞連載されました。



掲載図版 「心像 A」1959年頃

19歳の行動展初入選より56年を迎えた石原さん。その作品展を、関市立篠田桃紅美術空間と岐阜現代美術館の2会場で開催し、石原ミチオ56年間の作品世界をご紹介します。関市立篠田桃紅美術空間では「反抗の譜」と題し、学生時代から70年代に制作された、エネルギッシュで刺激的な作品群を展示します。2会場56点を展示し、石原ミチオ56年の作品世界を展観できる展覧会となっています。

### 「石原ミチオ56年の情景展 反抗の譜」展

- 会 期：5月22日(日)まで
  - 入館料：高校生以上300円、中学生以下無料
  - 休館日：月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)
  - 開館時間：午前9時～午後4時30分
  - 照会先：篠田桃紅美術空間(市役所7階) ☎ 7756
- 【臨時休館日のお知らせ】  
作品入替作業のため、5月24日(火)～26日(木)は閉館します。

## ひとひと 女と男

## ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会

vol. 80

### 「川柳」から学ぶ男女共同参画

いきなりですが

「うちのパパ うれし恥ずかし 公園デビュー」

「託児室 いきいきしてる 子連れパパ」

妻は忙しいのです。休日など、たまにはこのような手助けをしてもらえると妻としてはどれだけありがたいか。また、今が旬の言葉「イクメン」になって子どもたちと一緒に遊べるのもうれしいひとときです。

しかし、大多数は

「パパ見てよ 年中無休 ママの顔」

この状態で家事、育児、仕事と妻は年がら年中時間に追われ、夫の手伝いが少ないのが実情です。

妻はたまにこんな心境になるのでは？

「家事育児 一日交替 ママとパパ」

現在の社会状況から夫婦が共に働かざるを得ませんが、自治体や企業がさらに変わっていき、妻としても家事と育児が両立できる環境の到来を待ち望んでいます。

そして男女共同参画ということも少しでも理解して

「夫婦して 参画学び ちょい変わり」

このようになれば大変うれしいことです。男女共同参画という言葉は非常に堅苦しく聞こえますが、こんなふうに日常生活・出来事を“遊び心”を持って「さんかく川柳」にしてみたらいかがでしょうか。言葉や意味が柔らかく感じられて夫婦のこと、子育てのこと、家事全般のことなどへの理解が深まっていくのではないのでしょうか。

さんかくサポーター<J>

<照会先> さんかくサポーター事務局(まちづくり推進課内) ☎23-6831

